

環境経営レポート

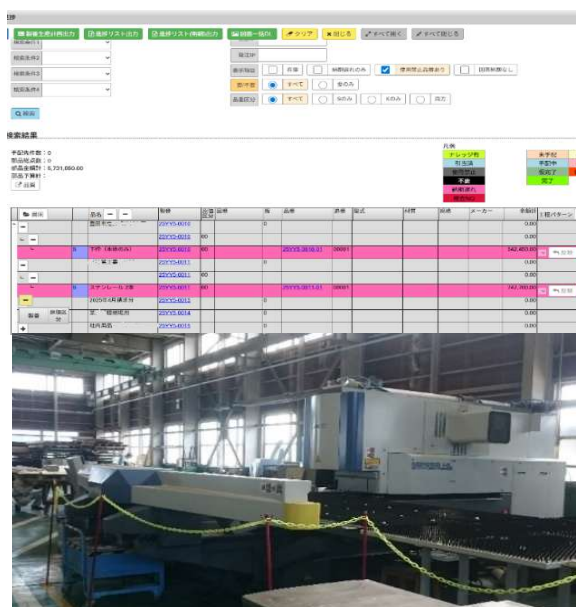


Table with 10 columns: No., Name, Date, Unit, Material, Process, Equipment, Model, Operator, and Quantity. The table contains data for various materials and processes, with some rows highlighted in pink.

No.	品名	単位	数量	材料	工程	設備	機種	オペレーター	数量
1	鉄板	枚	100	鉄板	切断	切断機	切断機	山崎	100
2	鉄板	枚	100	鉄板	切断	切断機	切断機	山崎	100
3	鉄板	枚	100	鉄板	切断	切断機	切断機	山崎	100
4	鉄板	枚	100	鉄板	切断	切断機	切断機	山崎	100
5	鉄板	枚	100	鉄板	切断	切断機	切断機	山崎	100
6	鉄板	枚	100	鉄板	切断	切断機	切断機	山崎	100
7	鉄板	枚	100	鉄板	切断	切断機	切断機	山崎	100
8	鉄板	枚	100	鉄板	切断	切断機	切断機	山崎	100
9	鉄板	枚	100	鉄板	切断	切断機	切断機	山崎	100
10	鉄板	枚	100	鉄板	切断	切断機	切断機	山崎	100



TOTAL METAL WORK YAMASHITA
since 1960

先進技術と熟練の職人が受け継いできた確かな技術の
融合が生み出すオンリーワンのものづくり。



2026年6月29日作成



株式会社 ヤマシタ

1. 環境経営方針

＜環境経営理念＞

全世界では益々深刻化する地球温暖化への対応が求められており、二酸化炭素の排出や資源の有効利用は人類共通の重要課題であると考えています。株式会社ヤマシタは環境経営目標を構築し、社員が一丸となって環境保全に取り組めます。

金属加工品の製造・販売の事業活動における環境負荷の低減や社会に貢献する製品の開発を目指し、社員が自主的・積極的に、環境経営目標の取り組みを進めてまいります。

＜環境保全への行動方針＞

1. 環境経営目標を定め、社員全員が環境負荷の削減に取り組めます。
 - ① 電力及びガソリン・軽油等の消費削減に努め、二酸化炭素排出量を削減します。
 - ② 紙類、金属端材、廃プラ、木くず等の廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）を推進します。
 - ③ 節水活動により水使用量の削減に努めます。
 - ④ 化学物質（PRTR法対象物質）の使用量の削減に努めます。
 - ⑤ 原材料及び事務用品のグリーン購入に努めます。
 - ⑥ ステンレスの素材を活かして、環境に配慮した製品開発を行います。
 - ⑦ 工場周辺の清掃活動に努め、地域住民と協調を図ります。これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。
2. 環境関連法規や当社が約束したことを遵守します。
3. 環境経営方針を社員全員に徹底し、環境に対する意識を高め、環境改善を継続的に取り組めます。

2026年 5月 1日
株式会社 ヤマシタ
代表取締役 福山 雅典

2. 事業の概要

1. 事業所名および代表者

株式会社 ヤマシタ
代表取締役 福山 雅典

2. 所在地

本社・本社工場	富山県富山市上八日町 2 2 番地の 1
新湊工場	富山県射水市新堀 2 1 番地の 3
新湊北工場	富山県射水市新堀 2 1 番地の 1
名古屋営業所	名古屋市西区堀越 3 丁目 1 9 - 1 7 (太陽ビル 2 F)
寺塚原工場	富山県射水市寺塚原 720 番地の 1

3. 環境保全関係の責任者、連絡先

環境管理責任者	中村 真記
推進責任者	中村 真記
連絡先	TEL 076-429-1433
	FAX 076-429-9219
	U R L http://www.y-ft.co.jp/
	E-mail nakamura-m@y-ft.co.jp

4. 事業内容の概要

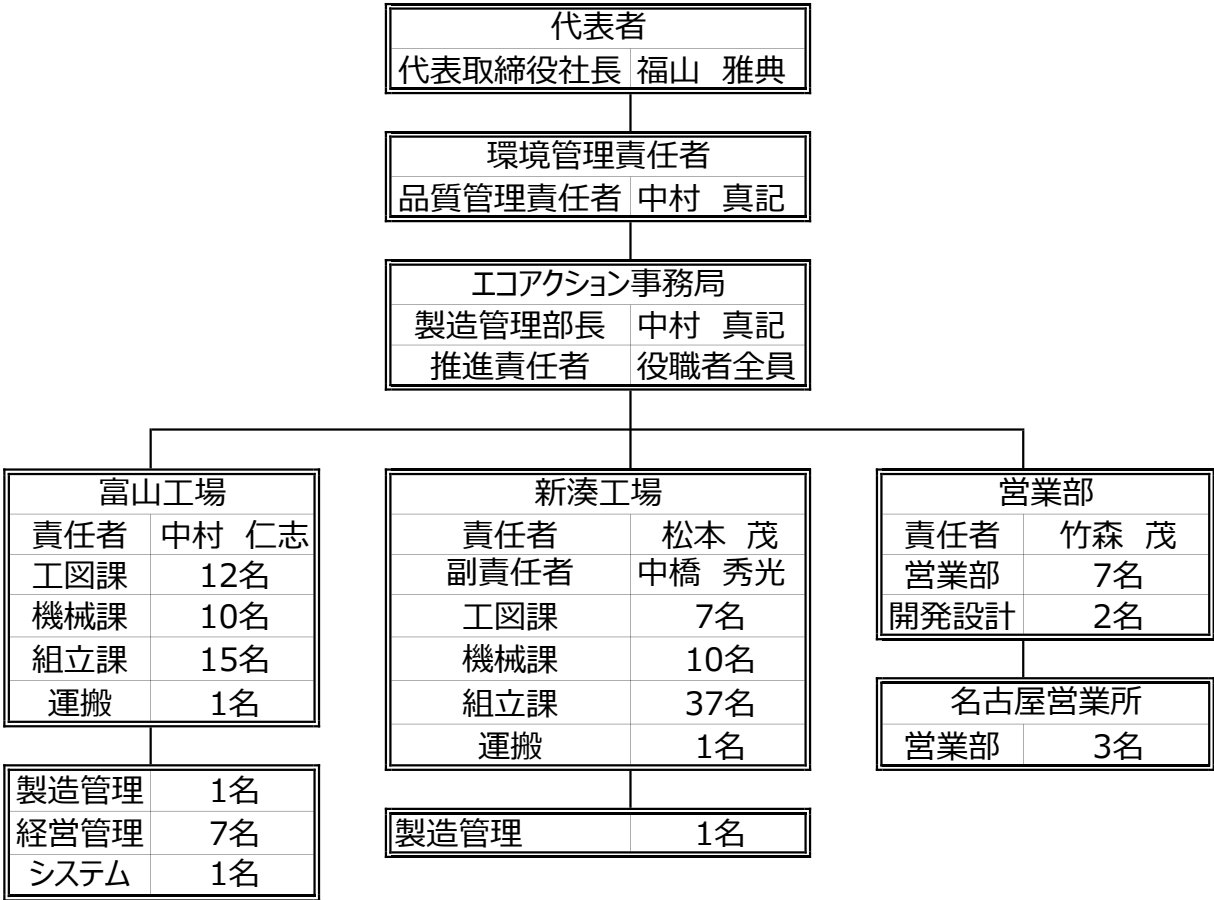
ステンレスサッシ・ドア等金属建具の製造・販売
手摺、建築用装飾金物の製造・販売
各種モニュメントの製作・企画デザイン
機械装置、部品等の製造

5. 事業の規模

売上高	令和 7 年度実績	2,116 百万円
従業員数	本社・本社工場	49 名
	新湊工場、新湊北工場	68 名
	名古屋営業所	3 名
生産能力	本社・本社工場	月 / 80 t
	新湊工場	月 / 80 t
敷地面積	本社・本社工場	7,883 m ²
	新湊工場	12,699 m ²
	新湊北工場	15,639 m ²
	婦中倉庫	5,049 m ²
	寺塚原工場	10,001 m ²
床面積	本社・本社工場	4,961 m ²
	新湊工場	5,665 m ²
	新湊北工場	3,368 m ²
	婦中倉庫	860 m ²
	寺塚原工場	1,751 m ²

3. 実施体制(組織図)

2026/5/1 現在



役 割 と 責 任	
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムに必要な人材、資金、技術、設備等を用意 ・環境経営方針の策定、見直し及び全社員へ周知 ・環境経営目標、活動計画書及び環境経営活動レポートを承認 ・経営課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・環境経営の総責任者として、全体的な運営を管理 ・全体計画を立案し、推進責任者、事務局と共に計画を推進 ・環境経営活動の取組結果及び活動レポートを代表者へ報告
事務局	・システム運営上のデータ収集及び分析、文書作成、教育の実施等 ・環境経営活動の実績集計、活動レポートの作成 ・環境関連法規等の取りまとめ表作成 ・環境管理責任者及び推進責任者と協議
推進責任者	・環境目標の進捗状況を管理し、取組内容の改善及び指示・指導 ・環境経営方針、行動指針の周知 ・各部門の問題点、課題の発見、是正処置の実施 ・各部門の取組状況の確認等を事務局へ報告
各工場および営業部門	・環境経営方針の理解及び環境への取組みを推進 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営目標

目標項目		目標基準年	2025年度目標	当年度実績	2026年度目標	2027年度目標
		2023年度実績				97%
1. 二酸化炭素排出量の削減						
(1) 消費電力量の削減 (電力量kWh/生産量t)	全社(kWh/t)	1,103.67	1,096.59	1,656.00	1,422.92	1,303.64
	全社消費電力量(kWh)	836,656	725,940	813,098	796,836	788,705
	全社生産量(t)	758	662	491	560	605
	富山工場(kWh/t)	806	867	999	960	969
	富山消費電力量(kWh)	250,685	226,209	254,764	249,669	247,121
	富山生産量(t)	311	261	255	260	275
	新湊工場All(kWh/t)	1,298	1,230	2,338	1,802	2,268
	新湊消費電力量(kWh)	580,298	493,237	551,772	540,737	535,219
	新湊生産量(t)	447	401	236	300	330
	全社	35,342	35,242	31,455	31,140	30,511
(2) 自動車燃料の削減						
① ガソリン消費量 (L)	ガソリン(営業部)	15,820	16,409	15,368	15,214	14,907
② 軽油消費量 (L)	軽油(製造部)	19,521	18,833	16,087	15,926	15,604
(3) 灯油等使用量の削減						
	全社	11,491	12,344	11,992	11,836	11,632
	富山工場	4,591	4,369	5,235	5,183	5,078
	新湊工場	6,841	7,813	6,721	6,654	6,519
	寺塚原工場	59	162	0	0	0
	名古屋営業所	0	0	36	0	35
2. 廃棄物の削減	廃棄物全体	220.5	247.8	247.8	247.2	240.3
(1) 紙類、段ボール (t)						
	全社	7.4	5.1	6.7	6.6	6.5
	富山工場	3.94	2.56	3.43	3.40	3.33
	新湊工場	3.42	2.54	3.28	3.24	3.18
(2) 金属材料の廃棄量 (t)						
	全社	179.8	215.2	192.7	190.8	186.9
	富山工場	68.7	70.7	100.3	99.3	97.3
	新湊工場	111.1	144.5	92.4	91.5	89.6
(3) 廃棄プラスチック (t)						
	全社	28.5	27.4	31.6	31.3	30.6
	富山工場	11.6	9.6	8.5	8.4	8.2
	新湊工場	16.9	17.8	23.1	22.9	22.4
(4) 木くず (t)						
	全社	4.9	0.0	18.7	18.5	18.1
	富山工場	4.1	0.0	3.9	3.9	3.8
	新湊工場	0.7	0.0	14.8	14.6	14.3
3. 総排水量 (m3)						
	全社	5,146	4,719	3,917	3,877	3,799
	富山工場	1,703	1,471	1,278	1,265	1,239
	新湊工場	2,419	2,294	1,560	1,544	1,513
	新湊北工場	387	220	231	229	224
	ヤマシタ寮	615	715	828	820	803
	寺塚原工場	22	20	20	20	19
4. グリーン商品の購入	全社	63.7%	66.3%	84.5%	84.5%	82.0%
5. 化学物質(PRTR法対象物質)の削減	全社	2,450	4,381	9,155	9,064	8,880
P R T R法対象物質使用量	富山工場	4,627	7,021	8,463	8,378	8,209
／鉄の加工重量	新湊工場	1,378	2,348	10,405	10,301	10,093
6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組目標						
(1) 金属材料の廃棄率の改善 (率)						
	全社	19.2%	28.2%	28.2%	28.2%	27.4%
	富山工場	18.1%	21.3%	28.4%	28.4%	27.5%
廃棄金属クズ／主要材料使用量	新湊工場	19.9%	27.4%	28.0%	28.0%	27.2%
	全社	2,602	2,175	1,934	1,915	1,876
(2) コピー用紙使用量の削減 (kg)						
	富山工場	1,104	986	887	878	861
	新湊工場	1,498	1,190	1,047	1,037	1,016

5. 環境経営計画（2025年度の取組）

1. 二酸化炭素排出量の削減

- | | | |
|--|-----------|----|
| (1) 節電活動 | 工場長 | 随時 |
| ① 電気料金の値上がりから一層の節電、生産性向上を図る。 | | |
| (2) 太陽光発電 | 経営管理部長 | |
| ① 自然エネルギーの活用を推進し、二酸化炭素排出量削減を継続する。 | | |
| (3) 冷暖房の室温管理（A／C） | 使用者（掲示済み） | 随時 |
| ① 事務所・工図室の冷房温度は28度に設定する。 | | |
| ② 事務所・工図室の暖房温度は20度に設定する。 | | |
| (4) 設備機器の検討 | 専務 | 随時 |
| ① TIG溶接機等新機種への切り替えは、インバータ方式を導入し省エネ化する。 | | |
| (5) 工程管理による残業時間の削減 | 各部門長 | 随時 |
| ① 顧客及び営業部門との打合せを密に行い、生産性向上体制を築く（無駄な時間外を無くす）。 | | |
| サイネージボードの残業時間推移を表示し啓蒙 | | |
| (6) 灯油使用量の削減 | 工場長 | 随時 |
| ① 消費量を定め計画購入する（暖房用）。 | | |
| (7) 自動車燃料の削減 | | |
| ① 運行予定表の作成による計画走行を実施する（トラック便）。 | 工場長 | 都度 |
| ② 車の乗換え時には、ハイブリッド等のエコカーとする。 | 専務 | 都度 |

2. 廃棄物の削減

- | | | |
|--|--------|----|
| (1) 紙類、段ボールの有効利用 | 工場長 | 都度 |
| ① 出荷梱包に、不要な段ボールを再利用し、紙類の廃棄分は100%再生業者へ持ち込む。 | | |
| ② 内部資料等の作成は、できる限り使用済みコピー用紙等の裏面使用を推進する。 | | |
| (2) 端材（残材）の有効利用 | 工場長 | 都度 |
| ① 端材等のスクラップ材の完全分別化（完全リサイクル）を実施する。 | | |
| ② 端材を利用した商品開発を促進する。 | | |
| (3) 廃棄プラスチックの削減 | 経営管理部長 | 都度 |
| ① 梱包材の再利用を推進し、廃プラの削減に努める。 | | |
| ② 分別を徹底し、廃プラの削減に努める。 | | |
| (4) 木くずの削減 | 経営管理部長 | 都度 |
| ① パレットの木くずを再利用する人に引き取ってもらう。 | | |

3. 排水量の削減

- | | | |
|--|--------------|----|
| (1) 節水運動の推進 | | |
| ① 節水を周知するためポスターを作成する。（蛇口設置箇所） | 製造管理部長（掲示済み） | |
| ② 清掃時の節水（作業場モップ清掃時等）に努める。 | 全員 | 都度 |
| (2) 融雪放水の管理 | 経営管理部長 | 都度 |
| ① 20cm以上の積雪又は天気予報等で20cm以上の積雪が予想される場合に放水する。 | | |
| ② 積雪状況を見て放水を停止するなど、無駄な放水をしないように努める。 | | |

4. 化学物質（PRTR法対象物質）の削減

- | | | |
|------------------------------|--------|-----|
| ① 化学物質取扱者に対する教育を行う。 | 製造管理部長 | 年1回 |
| SDSをだれもがいつでも閲覧できる状態にする | | |
| ② 化学物質の保管・管理を指導する。（安全パトロール） | 工場長・職長 | 都度 |
| ③ 使用量をモニタリングし、サイネージボードにて見える化 | 製造管理部長 | 常時 |

6. 環境負荷の実績及び目標と評価

1. 二酸化炭素排出量の削減

(1) 生産量に対する消費電力量の削減

- ・ 当社は生産量が増えれば消費電力量も増加するので、目標は下記のとおり消費電力量を生産量で割った数値を目標としています。

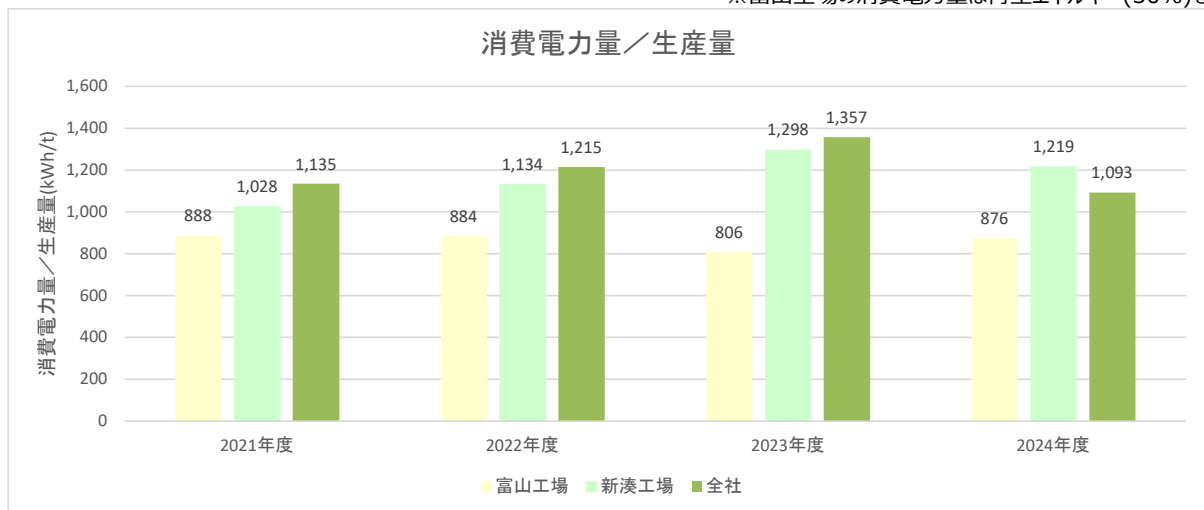
99%

98%

740,111

項 目	2023年度実績	2024年度実績	2025年度目標	2025年度実績	前年比(%)	前年比	達成率	次年度目標
富山工場 (電力量/生産量)	806	876	867	999	114%	123	87%	960
消費電力量(kWh)	250,685	253,882	226,209	254,764	100%	882	89%	249,669
内、再生可能エネルギー分(30%)				66,425				
生産量(t)	311	290	261	255	88%	-35	102%	260
新湊工場All (電力量/生産量)	1,298	1,241	1,230	2,338	188%	1,097	53%	1,802
消費電力量All(kWh)	580,298	553,576	493,237	551,772	100%	-1,804	89%	540,737
生産量All(t)	447	446	401	236	53%	-210	170%	300
新湊工場 消費電力量(kWh)	465,210	437,471	389,787	449,674	103%	12,203	87%	440,681
新湊北工場 消費電力量(kWh)	94,146	96,388	85,882	87,572	91%	-8,816	98%	85,821
婦中倉庫 消費電力量(kWh)	2,311	1,502	1,338	288	19%	-1,214	465%	282
寺塚原工場 消費電力量(kWh)	18,631	18,215	16,230	14,238	78%	-3,977	114%	13,953
富山事業所 消費電力量(kWh)	830,983	807,458	719,446	806,536	100%	-922	89%	790,405
北電の排出量(kg-CO2)	414,661	402,922	359,004	336,751	84%	#####	107%	359,634
名古屋営業所 消費電力量(kWh)	5,673	6,560	6,494	6,562	100%	2	99%	6,431
中電の排出量(kg-CO2)	2,604	3,011	2,734	2,763	92%	-248	99%	2,707
全社 (電力量/生産量)	1,104	1,106	1,097	1,656	150%	550	66%	1,423
消費電力量(kWh)	836,656	814,018	725,940	813,098	100%	-920	89%	796,836
生産量(t)	758	736	662	491	67%	-245	135%	560
全社の排出量(kg-CO2)	417,264	405,933	361,738	339,513	84%	#####	107%	362,342

※富山工場の消費電力量は再生エネルギー(30%)を引いて算出



・ 2025年度の結果と評価

生産量は前年比67%と激減した結果、目標値(消費電力量÷生産量) 1,097 kWh/t に対して、実績値 1,656kWh/t と大幅に増加したが全社の消費電力量は、813,098kWhとなり、前年とほぼ同じだった。

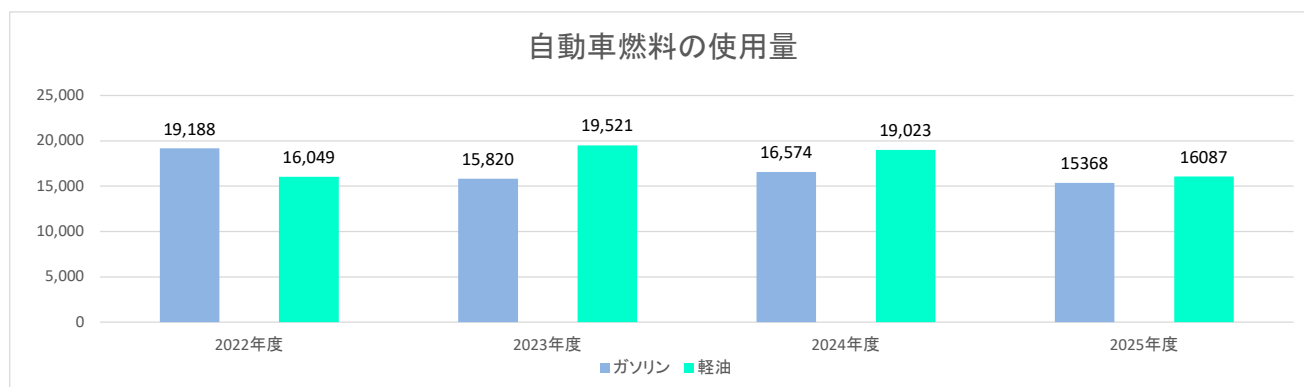
99%

99%

(2) 自動車燃料の削減

99%

項 目	2023年度実績	2024年度実績	2025年度目標	2025年度実績	前年比(%)	前年比	達成率	次年度目標
自動車燃料								
ガソリン/L	15,820	16,574	16,409	15,368	93%	-1,206	107%	15,214
排出量(kg-CO2)	36,735	37,955	37,576	35,193	93%	-2,762	107%	34,841
軽油/L	19,521	19,023	18,833	16,087	85%	-2,936	117%	15,926
排出量(kg-CO2)	51,126	49,841	49,343	42,148	85%	-7,693	117%	41,726
全社(ガソリン+軽油)/L	35,342	35,598	35,242	31,455	88%	-4,143	112%	31,140
排出量(kg-CO2)	87,861	87,796	86,918	77,340	88%	-10,456	112%	76,567



・ 2025年度の結果と評価

前年比でガソリンが7%減少、軽油は15%減少し、合計で4,143L減少した。

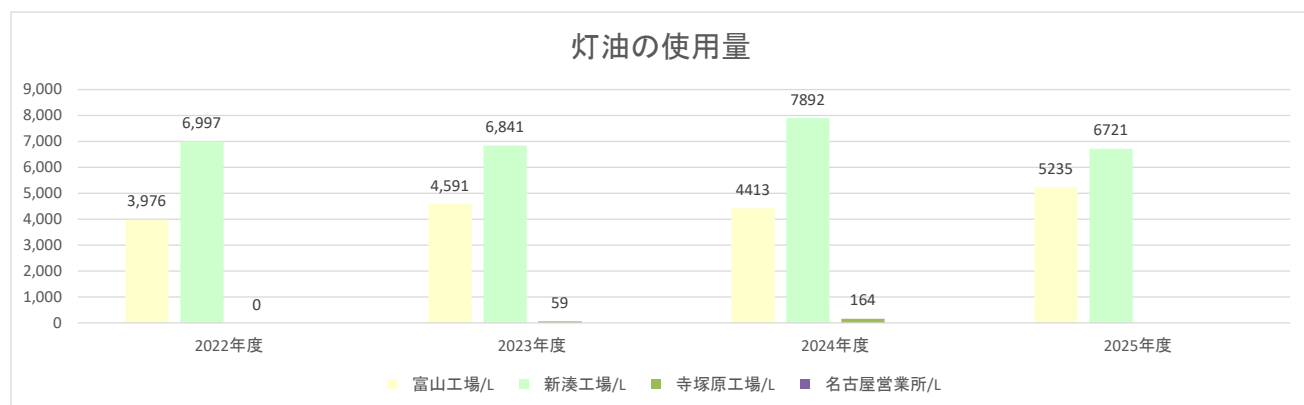
結果、自動車燃料は、全社で前年比 12%減少する結果となった。荷動きの少なさが、影響したものと考えられる。

99%

99%

(3) 灯油使用量の削減

項 目	2023年度実績	2024年度実績	2025年度目標	2025年度実績	前年比(%)	前年比	達成率	次年度目標
灯油使用量								
富山工場/L	4,591	4,413	4,369	5,235	119%	822	83%	5,183
新湊工場/L	6,841	7,892	7,813	6,721	85%	-1,171	116%	6,654
寺塚原工場/L	59	164	162	0	0%	-164	#DIV/0!	0
名古屋営業所/L	0	0	0	36	#DIV/0!	36	0%	0
全社/L	11,491	12,469	12,344	11,992	96%	-477	103%	11,836
排出量(kg-CO2)	30,095	31,173	30,860	29,980	104%	-1,193	103%	29,591



・ 2025年度の結果と評価

灯油の使用量は、前年比、富山工場19%増、新湊工場は15%減となった。

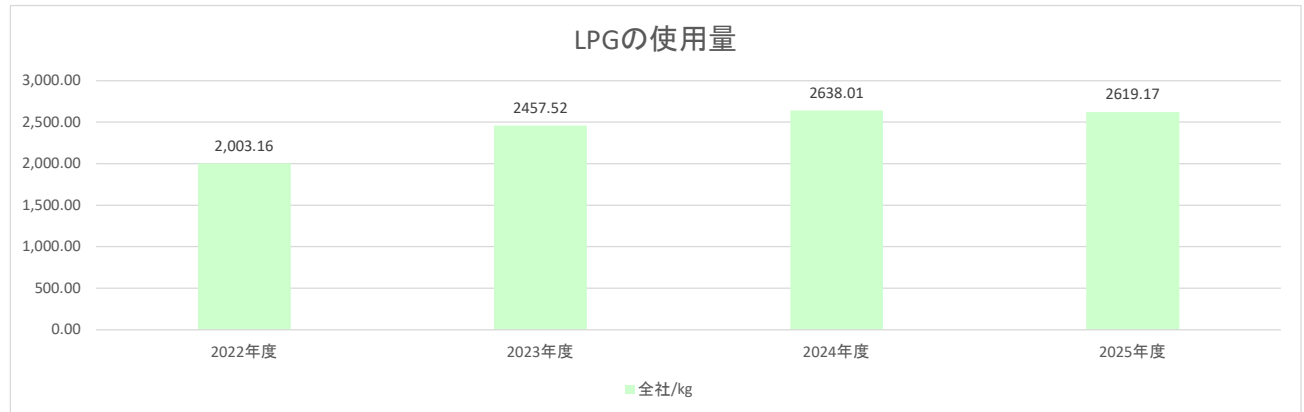
次年度は、月度ごとの使用量のモニタリングを実施し、無駄な使用がないよう努めていく。

99%

99%

(4) LPG使用量

項 目	2023年度実績	2024年度実績	2025年度目標	2025年度実績	前年比(%)	前年比	達成率	次年度目標
全社/kg	2,458	2,638	2,612	2,619	99%	-19	100%	2,593
排出量(kg-CO ₂)	7,373	7,914	7,835	7,831	99%	-83	100%	7,753



2025年度の結果と評価

LPG CO₂排出係数は、2.99 kg-CO₂/kgとして算出。

LPGの使用は、従業員数と生産活動稼働率に依存していると思われる。

(5) 電気・ガソリン・軽油・灯油・LPGの合計

項 目	2023年度実績	2024年度実績	2025年度目標	2025年度実績	前年比(%)	前年比	達成率	次年度目標
二酸化炭素の総排出量(kg-CO ₂)	542,593	532,816	485,563	454,665	85%	△ 78,151	107%	476,253
二酸化炭素の総排出量(kg-CO ₂)/生産量(t)	716	724	733	926	128%	202	79%	719

(注) 二酸化炭素の排出係数は、北陸電力は調整後排出係数(令和7年度実績 0.496-CO₂/kWh) で算出。

名古屋営業所は中部電力の排出係数(令和7年度実績 0.421-CO₂/kWh) で算出。

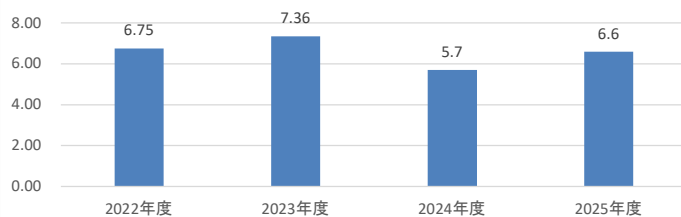
2. 廃棄物の総量の削減

99%

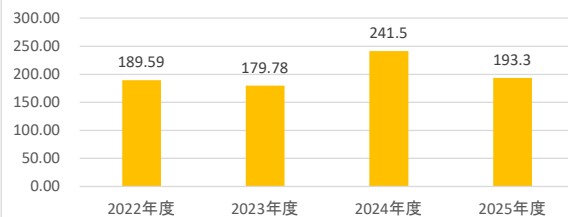
99%

項 目	2023年度実績	2024年度実績	2025年度目標	2025年度実績	前年比(%)	前年比	達成率	次年度目標
紙類、段ボール (t)	7.4	5.7	5.1	6.7	117%	1	76%	6.6
富山工場	3.9	2.9	2.6	3.4	120%	1	75%	3.4
新湊工場	3.4	2.9	2.5	3.3	115%	0	78%	3.2
金属クズ (t)	179.8	241.5	215.2	192.7	80%	-49	112%	190.8
富山工場	68.7	79.3	70.7	100.3	126%	21	70%	99.3
新湊工場	111.1	162.2	144.5	92.4	57%	-70	156%	91.5
廃プラ等 (t)	28.5	30.8	27.4	31.6	103%	1	87%	31.3
富山工場	11.6	10.8	9.6	8.5	79%	-2	113%	8.4
新湊工場	16.9	20.0	17.8	23.1	115%	3	77%	22.9
木くず (t)	4.9	0.0	0.0	18.7	#DIV/0!	19	0%	18.5
富山工場	4.1	0.0	0.0	3.9	#DIV/0!	4	0%	3.9
新湊工場	0.7	0.0	0.0	14.8	#DIV/0!	15	0%	14.6
廃棄物量(t)	220.5	278.1	247.8	249.7	90%	-28	99%	247.2
生産量(t)	758.1	735.9	662.0	491.0	67%	-245	135%	486.1
廃棄物量/生産量	0.291	0.378	0.374	0.509	135%	0	0.736	0.503

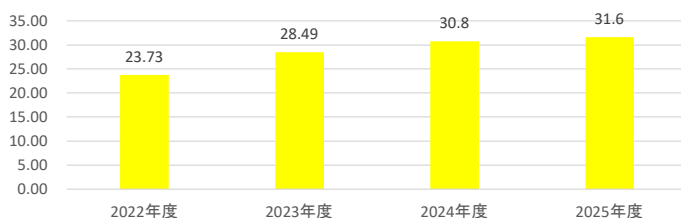
紙類、段ボール(t)



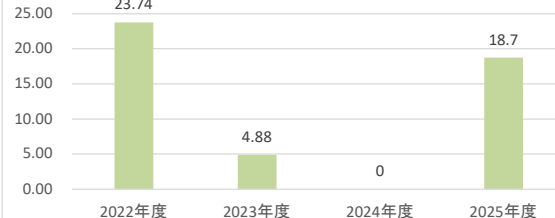
金属クズ(t)



廃プラ等(t)



木くず(t)



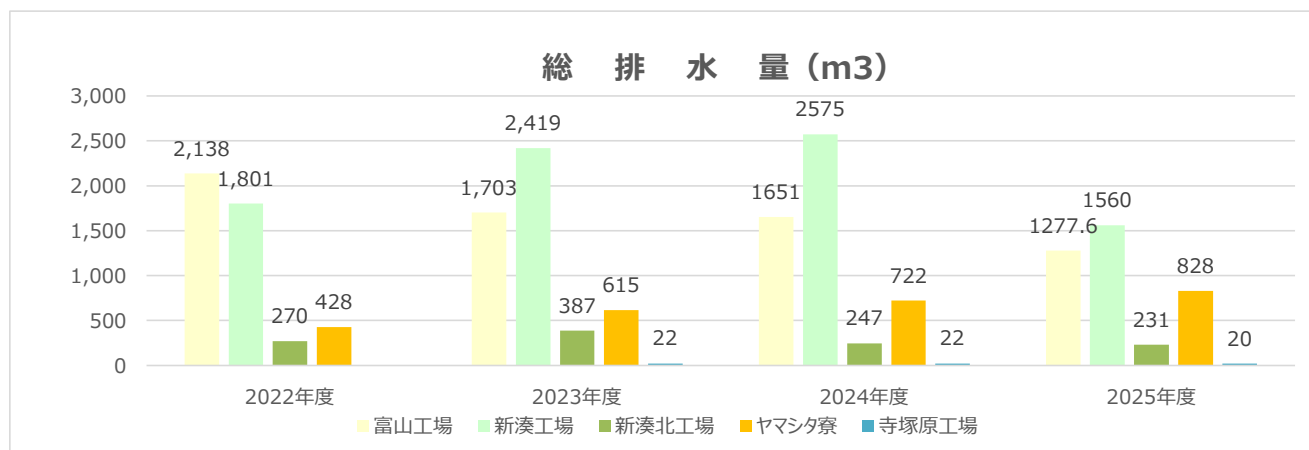
・ 2025年度の結果と評価

会社全体として、対前年比、10%減となった。新湊工場の生産量の急減がそのまま金属クズの廃棄量の減少につながったと感あげられる。

3. 総排水量の削減

99%

項 目	2023年度実績	2024年度実績	2025年度目標	2025年度実績	前年比(%)	前年比	達成率	次年度目標
富山工場/m3	1,703	1,651	1,471	1,278	77%	-373	115%	1,265
新湊工場/m3	2,419	2,575	2,294	1,560	61%	-1015	147%	1,544
新湊北工場/m3	387	247	220	231	94%	-16	95%	229
ヤマシタ寮/m3	615	722	715	828	115%	106	86%	820
寺塚原工場/m3	22	22	20	20	91%	-2	98%	20
総排水量	5,146	5,217	4,719	3,917	75%	-1300	120%	3,877



・ 2025年度の結果と評価

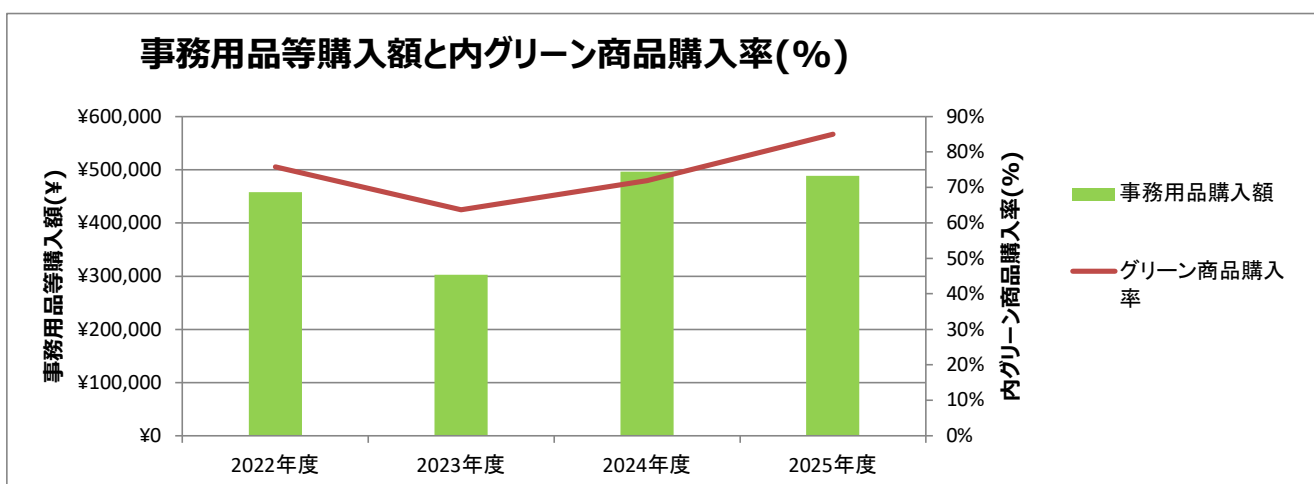
全社で前年比25%減、目標達成率120%と大幅過達となった。生産量の減少が影響していると思われる。

4. グリーン商品の購入率アップ

99%

98%

項 目	2023年度実績	2024年度実績	2025年度目標	2025年度実績	前年比(%)	前年比	達成率	次年度目標
グリーン商品の購入率	64%	72%	66%	85%	127%	0	127%	85%
事務用品等購入額	¥302,361	¥496,561	¥296,314	¥488,712	98%	-7849	61%	¥483,825
内グリーン商品の購入額	¥192,612	¥357,323	¥196,543	¥413,100	116%	55777	48%	¥408,969



・ 2025年度の結果と評価

事務用品全体の購入額はほぼ横ばい。これに対し、グリーン商品を優先して購入したことで、その率は85%まで上がった。

5. 化学物質 (PRTR法対象物質) 使用量の削減

99%

99%

(1) 富山工場

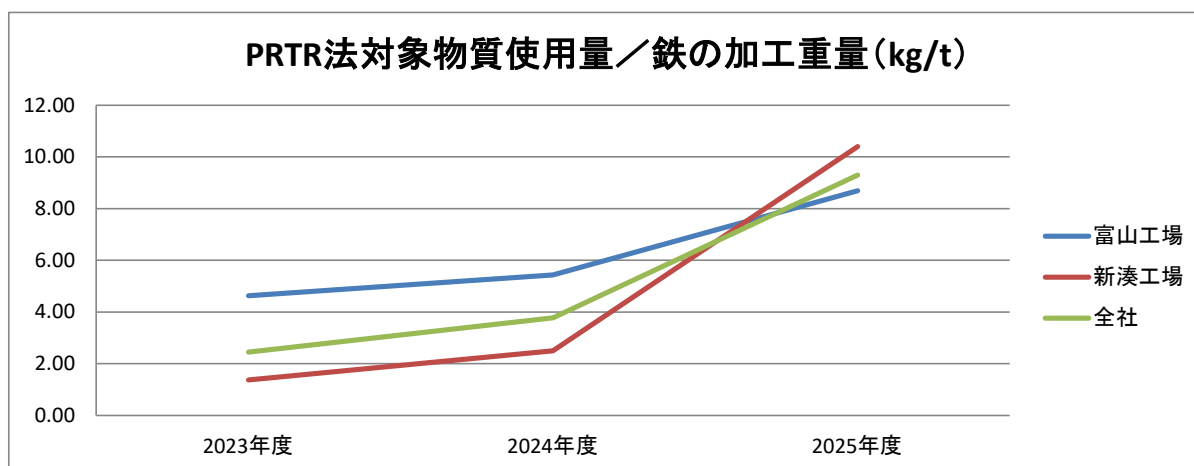
項 目	2023年度実績	2024年度実績	2025年度目標	2025年度実績	前年比(%)	前年比	達成率	次年度目標
PRTR法対象物質使用量/鉄の加工重量(kg/t)	4.63	7.02	7.02	8.46	121%	1	83%	8.38
鉄の加工重量/t	145	148	127	130	88%	3	97%	130
PRTR法対象物質/kg	670	1,040	889	1,100	106%	211	81%	1,089
トルエン/kg	63	302	258	301	100%	43	86%	298
キシレン/kg	336	409	350	418	102%	68	84%	414
エチルベンゼン/kg	271	329	281	337	103%	56	83%	334
その他/kg	0	0	0	44	#DIV/0!	44	0%	44

(2) 新湊工場

項 目	2023年度実績	2024年度実績	2025年度目標	2025年度実績	前年比(%)	前年比	達成率	次年度目標
PRTR法対象物質使用量/鉄の加工重量(kg/t)	1.38	2.35	2.35	10.41	443%	8	23%	10.30
鉄の加工重量/t	294	192	164	72	37%	-92	228%	72
PRTR法対象物質/kg	405	452	386	749	166%	363	52%	742
トルエン/kg	332	391	334	355	91%	21	94%	351
キシレン/kg	35	31	27	125	400%	98	21%	124
エチルベンゼン/kg	38	30	26	108	360%	82	24%	107
その他/kg	0	0	0	162	#DIV/0!	162	0%	160

(4) 全社

項 目	2023年度実績	2024年度実績	2025年度目標	2025年度実績	前年比(%)	前年比	達成率	次年度目標
PRTR法対象物質使用量/鉄の加工重量(kg/t)	2.45	4.38	4.38	9.16	209%	5	48%	9.06
鉄の加工重量/t	439	340	291	202	59%	-89	144%	202
PRTR法対象物質/kg	1,075	1,491	1,275	1,849	124%	574	69%	1,831
トルエン/kg	394	693	592	655	95%	63	90%	649
キシレン/kg	371	440	376	543	123%	167	69%	538
エチルベンゼン/kg	310	359	307	445	124%	138	69%	441
その他/kg	0	0	0	206	#DIV/0!	206	0%	204



(注) 化学物質使用量の削減目標は、PRTR法の対象物質に対する鉄の加工重量としていますが、単位が小さくて表が見にくいので、鉄の加工を 1t するのにトルエン等の化学物質を何kg使用したかを表示しています。

化学物質の削減目標 $\frac{\text{PRTR法対象物質の使用量}}{\text{鉄の加工重量}}$

・ 2025年度の結果と評価

化学物質 (PRTR法対象物質) 使用量は前年対比大幅増加した。今のところ、原因が明白ではないが、今年度の購入量から算出した数値は間違いない。次年度の使用量をウオッチしながら、要因を明確にしていける。

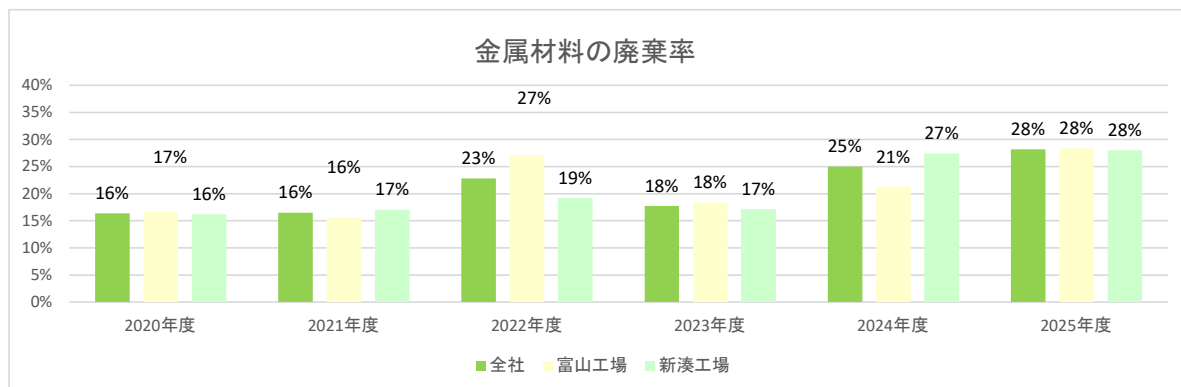
6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組

98%

99%

(1) 金属材料の廃棄率の改善

項 目	2023年度実績	2024年度実績	2025年度目標	2025年度実績	前年比(%)	前年比	達成率	次年度目標
全社金属材料の廃棄率	19%	25%	25%	28%	113%	3%	89%	28%
主要材料使用量(t)	938	966	852	684	71%	-282	125%	677
金属クズ(t)	180	242	213	193	80%	-49	110%	191
富山工場の金属材料廃棄率	18%	21%	21%	28%	133%	7%	75%	28%
主要材料使用量(t)	380	373	329	356	95%	-17	92%	352
金属クズ(t)	69	79	70	101	127%	22	69%	100
新湊工場の金属材料廃棄率	20%	27%	27%	28%	102%	1%	98%	28%
主要材料使用量(t)	558	593	523	328	55%	-265	159%	325
金属クズ(t)	111	162	143	92	57%	-70	156%	91



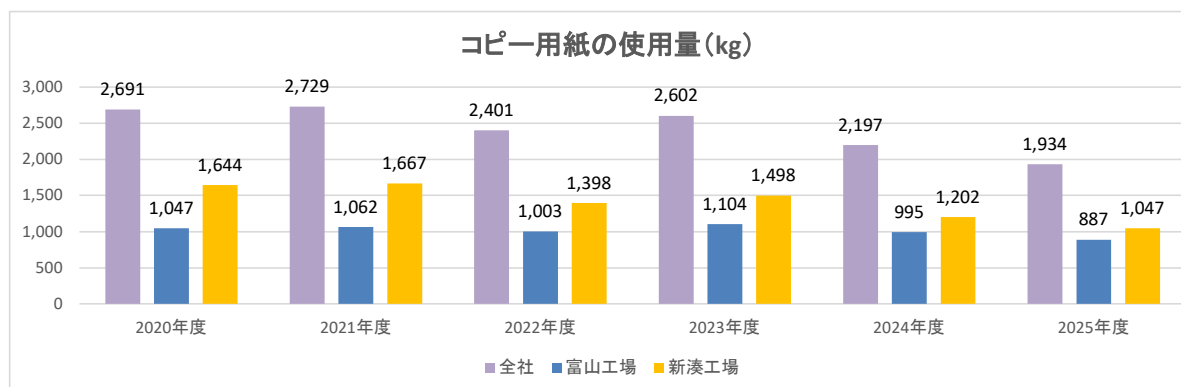
・ 2025年度の結果と評価

新湊工場の廃棄量が減少している一方で、富山工場のそれが増加しているのは、廃棄物スペースに長年放置していたものを一掃したためである。

99%

(2) コピー用紙の使用量の削減

項 目	2023年度実績	2024年度実績	2025年度目標	2025年度実績	前年比(%)	前年対比	達成率	次年度目標
全社(kg)	2,602	2,197	2,175	1,935	88%	-241	112%	1,915
富山工場(kg)	1,104	995	986	887	89%	-98	111%	878
新湊工場(kg)	1,498	1,202	1,190	1,047	87%	-143	114%	1,037

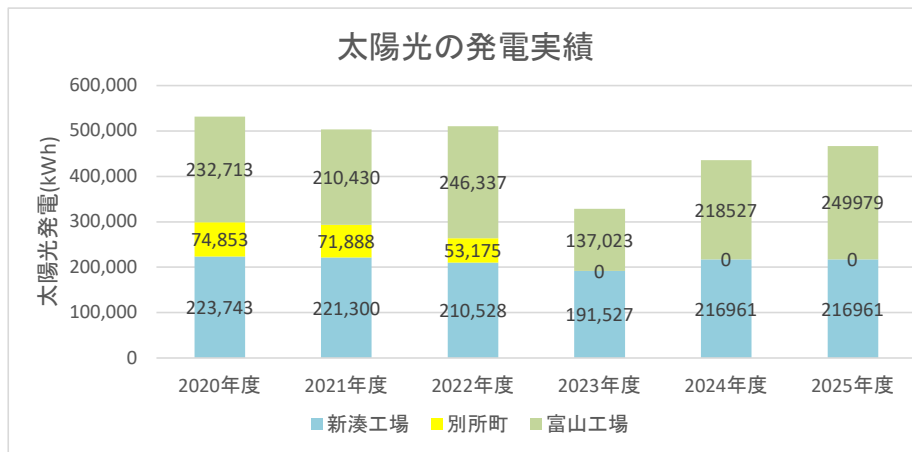


・ 2025年度の結果と評価

コピー用紙の使用量は、全社で241kg減少と昨年に引き続きの減少である。生産量の減少に加え、デジタル化の推進も奏功していると思われる。

(3) 太陽光発電への取組み

項 目	2023年度	2024年度実績	2025年度実績
太陽光発電 (kWh)	328,550	435,488	462,386
新湊工場発電 (kWh)	191,527	216,961	212,407
別所町発電 (kWh)	0	0	0
富山工場発電 (kWh)	137,023	218,527	249,979
全社の排出量(kg - CO2)	163,289	216,438	229,806



- ・2025年度では462,368kWhの発電をすることができた。
- 別所町は 北陸フロンティアに売却した為、R4年12月までの集計である。

7. 環境経営目標の実績と評価

1. 取組状況

全体取組項目	取組内容	実績と評価			
(1) 環境方針	当社の方針に沿って策定	富山工場	新湊工場	新湊北・名古屋他	全社
(2) 環境目標と その実績	1. 二酸化炭素排出量の削減 1t当りの消費電力量（電力量／生産量）	87%	53%		66%
	自動車燃料				
	ガソリン消費量の削減				107%
	軽油消費量の削減				117%
	灯油	83%	116%		103%
	2. 廃棄物量の削減				99%
	紙類、段ボールの廃棄量の削減	75%	78%		76%
	金属材料の廃棄物の削減	70%	156%		112%
	廃棄プラスチック廃棄量の削減	113%	77%		87%
	木くず廃棄量の削減	0%	0%		0%
	3. 総排水量の削減	115%	147%	95%	120%
	4. グリーン商品の購入				127%
	5. 化学物質排出率の削減	83%	23%		48%
	6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組				
	金属材料の廃棄率の改善	75%	98%		89%
	コピー用紙の使用量の削減	111%	114%		112%
(3) 環境活動計 画の内容	節電活動（休憩時の消灯等）	○	○		○
	冷暖房の室温管理（温度設定）	△	△		△
	工程管理による残業時間の削減	○	○	○	○
	自動車燃料の削減（エコドライブの推進）	－	－	－	○
	灯油使用量の削減（灯油ストーブの管理）	×	○	－	○
	紙類、段ボールの有効利用	×	×	－	×
	端材（残材）の有効利用	×	○	－	×
	廃棄プラスチックの削減	○	×	－	×
	木くず廃棄量の削減	－	－	－	－
	節水活動の推進	○	○	－	○
	融雪放水の管理	○	－	－	○
	グリーン商品の購入	－	－	－	○
	化学物質の保管・管理を指導	×	×	－	×
	金属材料の廃棄率の改善	×	×	－	×
	コピー用紙の使用量削減	○	○	－	○

8. 代表者による全体評価

	報 告	コメント・提案 (環境管理責任者)	評価・指示事項 (代 表 者)
排出量の削減	二酸化炭素の排出量は2023年度から徐々に低減している。	環境への意識が高まっていることも一因と思われる。	日ごろの生産活動の中で、従業員への啓蒙に努め、排出削減を推進すること。
廃棄物量の削減	当社では金属クズの発生が、廃棄物全体に占める割合が大きい。新湊工場の生産量の減少に伴い激減、富山工場は廃棄物スペースに長年放置していたもの(43t)を一掃したため増加しており、これを除くと全体としては前年比75%となった。	特殊要因を除くと、生産量の減少に伴い、廃棄物量の減少が見られた。生産量減少の影響は避けられず、生産量当たりの廃棄物量は若干の増加となった。	当社の廃棄物量は金属クズが多くを占める。これを削減することが、生産性、当社の利益とともに環境への影響負荷を低減させることになるので、重点課題として引き続き取り組むこと。

9. 環境関連法規等の取組み

1. 当社の事業活動において、法的義務を受ける主な環境法規は次の通りです。

適用される法規制等	適用される事項	評価
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラスチック類、木くず)	適合
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機	適合
小型家電リサイクル	パソコン、携帯電話、デジカメ	適合
水銀廃棄物ガイドライン	廃蛍光灯、HIDランプ	適合
フロン排出抑制法	フロン類の適正処理、3か月に1回以上簡易点検	適合
騒音規制法	油圧プレス機、コンプレッサー	適合
振動規制法	油圧プレス機、コンプレッサー	適合
浄化槽法	浄化槽の管理	適合
消防法	定期点検の実施、少量危険物保管の管理	適合
高圧ガス保安法	高圧ガスボンベ使用	適合
労働安全衛生法	作業環境の整備、一般健康診断、特殊健康診断	適合
自動車リサイクル法	自動車の管理、リサイクル料の納付	適合
PRTR法	化学物質の管理	適合

2. 環境関連法規への違反、訴訟等はありません。

また、関係機関や地域住民からの苦情や指摘事項には、都度、適切に対処し、必要な対策は講じております。

環境経営計画（次年度取組内容）

1. 二酸化炭素排出量の削減

- | | | |
|--|-----------|----|
| (1) 節電活動 | 工場長 | 随時 |
| ① 電気料金の値上がりから一層の節電、生産性向上を図る。 | | |
| (2) 太陽光発電 | 経営管理部長 | 随時 |
| ① 自然エネルギーの活用を推進し、二酸化炭素排出量削減を継続する。 | | |
| (3) 冷暖房の室温管理（A / C） | 使用者（掲示済み） | 都度 |
| ① 事務所・工図室の冷房温度は28度に設定する。 | | |
| ② 事務所・工図室の暖房温度は20度に設定する。 | | |
| (4) 設備機器の検討 | 専務 | 都度 |
| ① TIG溶接機等新機種への切り替えは、インバータ方式を導入し省エネ化する。 | | |
| (5) 工程管理による残業時間の削減 | 各部門長 | 随時 |
| ① 顧客及び営業部門との打合せを密に行い、生産性向上体制を築く（無駄な時間外を無くす）。 | | |
| (6) 灯油使用量の削減 | 工場長 | 随時 |
| ① 消費量を定め計画購入する（暖房用）。 | 製造管理部長 | 常時 |
| ② 消費量をサイネージボードで周知 | | |
| (7) 自動車燃料の削減 | 工場長 | 随時 |
| ① 運行予定表の作成による計画走行を実施する（トラック便）。 | 専務 | 都度 |
| ④ 車の乗換え時には、ハイブリッド等のエコカーとする。 | | |

2. 廃棄物の削減

- | | | |
|--|--------|----|
| (1) 紙類、段ボールの有効利用 | 工場長 | 都度 |
| ① 出荷梱包に、不要な段ボールを再利用し、紙類の廃棄分は100%再生業者へ持ち込む。 | | |
| ② 内部資料等の作成は、できる限り使用済みコピー用紙等の裏面使用を推進する。 | | |
| (2) 端材（残材）の有効利用 | 工場長 | 都度 |
| ① 端材等のスクラップ材の完全分別化（完全リサイクル）を実施する。 | | |
| ② 端材を利用した商品開発を促進する。 | | |
| (3) 廃棄プラスチックの削減 | 経営管理部長 | 都度 |
| ① 梱包材の再利用を推進し、廃プラの削減に努める。 | | |
| ② 分別を徹底し、廃プラの削減に努める。 | | |

3. 排水量の削減

- | | | | |
|--|--------------|----|----|
| (1) 節水運動の推進 | 製造管理部長（掲示済み） | 全員 | 都度 |
| ① 節水を周知するためポスターを作成する。（蛇口設置箇所） | | | |
| ② 清掃時の節水（作業場モップ清掃時等）に努める。 | | | |
| (2) 融雪放水の管理 | 経営管理部長 | 都度 | |
| ① 20Cm以上の積雪又は天気予報等で20Cm以上の積雪が予想される場合に放水する。 | | | |
| ② 積雪状況を見て放水を停止するなど、無駄な放水をしないように努める。 | | | |

4. 化学物質（PRTR法対象物質）の削減

- | | | |
|---|--------|-----|
| ① 化学物質取扱者に対する教育を行う。 | 製造管理部長 | 年1回 |
| ② 化学物質の保管・管理を指導する。（安全パトロール） | | |
| ③ 有機溶剤・特定化学物質作業主任者の技能講習の受講を推奨し管理意識の向上を図る。 | | |

6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組

- | | | |
|----------------------------|--------|----|
| (1) 金属材料の廃棄率の改善（材料のムダを無くす） | 製造管理部長 | 常時 |
| 生産性と廃棄物量の推移をサイネージボードで周知 | | |
| ① 集約加工の推進（ネスティング歩留りの向上）。 | | |
| ② 在庫管理システムの構築 | | |
| ③ 不良品の削減（真因を追究する取り組み） | | |
| ④ 残材使用を含む材料の適正選択を指示する。 | | |